

実施内容

1. 森林環境教育 指導者研修会

LEAF ローカルインストラクター研修会

日時：3月23日（土）13:30～3月24日（日）16:00

内容：LEAF の概要の講義、体験、実習ではプログラム作りと実践

講師：FEE JAPAN 伊藤氏、LEAF インストラクター 吉田氏、麻生氏

参加者：森林の風9名、大杉谷自然学校1名

※LEAF は北欧で普及している環境教育プログラム。北欧でも森林業界が衰退した時期があり、それを期に森林業界が森林産業の普及のために開発。自然と人間の共生を目指して環境教育が行われている。森林率の高い北欧では子どもの約30%が参加しており、環境意識の向上や森林産業が、環境、経済の視点から一つの重要な産業として位置づけられる事に大きな役割を果たしてきている。

ノルウェーの事例では、幼児から高校生まで、様々な教科を森林を通して学習する。

「気づき」とお互いの意見を「共感」することを第一におき、子どもたちの主体的な学びを行う。インストラクターは子どもたちの気づきを生む為のファシリテーターとして関わりを持つ。

2. 平成25年度に向けての検討

- ・予算源：補助金申請、NPO 法人寄付金
林野庁「森林・山村の多面的機能発揮対策」申請
その他助成金等の活用
- ・学校におけるプログラム資料の検討
県では森林環境教育を普及させるために県、学識経験者、森林環境教育実践者で検討会を開き学校向けの資料を作成する予定。
- ・みえ森と緑の県民税の平成26年4月からの導入を見据え、県や市町への働きかけを行う
- ・今年度実施校についても、連絡を取り合い、学校が取り組みやすい仕組みを考え提案する